

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

 上場会社名 協和発酵工業株式会社
 コード番号 4151 URL <http://www.kyowa.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

 (氏名) 松田 謙
 (氏名) 久我 哲郎

TEL 03-3282-0009

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	125,435	—	17,072	—	18,795	—	9,588	—
20年3月期第1四半期	94,978	10.8	7,568	△7.3	8,372	△0.8	5,319	159.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	16.69	16.68
20年3月期第1四半期	13.37	13.36

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	744,591	—	556,749	—	74.1	—	961.41	—
20年3月期	394,081	—	256,758	—	64.5	—	639.69	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 551,985百万円 20年3月期 254,289百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	245,000	—	31,000	—	31,000	—	16,000	—	27.84
通期	490,000	25.0	57,000	44.7	56,000	47.4	28,000	19.3	48.72

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 キリンファーマ(株)) 除外 1社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 576,483,555株 20年3月期 399,243,555株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2,343,079株 20年3月期 1,723,184株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 574,460,589株 20年3月期第1四半期 397,866,741株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
3. 当社は、平成20年4月1日付けで、当社を完全親会社、キリンファーマ(株)を完全子会社とする株式交換を実施しました。これに伴い当社がキリンホールディングス(株)の子会社となったことから、当該株式交換は、企業結合会計上の「逆取得」に該当するため、当社の当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表は、キリンファーマ(株)が当社を取得したものとみなして、キリンファーマ(株)を取得企業、当社を被取得企業とするパーチェス法を適用しております。この結果、前連結会計年度の連結財務諸表の連結会計年度末残高と、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の期首残高との間には連続性がなくなっております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の売上高は、本年4月1日に実施した株式交換によりキリンファーマ㈱が新たに当社の連結子会社となったことに加え、医薬事業において多額の導出一時金収入があったことなどから、1,254億円と前年同期比304億円の大幅増収（32.1%増）となりました。

医薬事業では、当社においては、薬価基準の引下げや持続性がん疼痛治療剤「デュロテップ」の共同販売終了に伴う減収がありましたが、抗アレルギー剤「アレロック」、抗てんかん剤「デパケン」、抗アレルギー点眼剤「パタノール」等が順調な販売状況を維持したほか、4月に販売を開始した高血圧症治療剤「コバシル」も好調に推移し売上高の増加に貢献しました。さらに、米国アムジェン社との抗CCR4ヒト化モノクローナル抗体KW-0761に関するライセンス契約締結に伴い、契約一時金100万米ドルを売上高に計上したため、大幅な増収となりました。キリンファーマ㈱においては、厳しい競争環境の下、主力の貧血治療剤「ネスプ」「エスポー」の積極的な情報提供活動を展開しました。また、1月に販売を開始した二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」の早期市場浸透に努めております。

バイオケミカル事業では、アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料が、海外需要の増加等に支えられて好調に推移したほか、ヘルスケア製品やアルコールも堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

化学品事業では、国内需要が弱含みとなり、販売数量は前年同期を下回りましたが、原燃料価格の更なる高騰を背景に国内外の製品市況が高値で推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

食品事業では、うま味調味料が売上高を伸ばしましたが、製菓・製パン資材の売上高が減少したため、全体としては前年同期並みの売上高となりました。

利益面では、キリンファーマ㈱との株式交換が企業結合会計上の逆取得に該当するため、当第1四半期において当該逆取得に伴うのれん償却額23億円を販売費及び一般管理費に計上しておりますが、医薬事業を中心に売上げが大幅に増加したため、営業利益は170億円と前年同期比95億円の大幅増益（125.6%増）となりました。また、経常利益は187億円（前年同期比124.5%増）となり、四半期純利益については、減損損失など15億円の特別損失を計上した結果、95億円（同80.2%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、本年4月1日付けのキリンファーマ㈱との株式交換等により、前連結会計年度末に比べて3,505億円増加し、7,445億円となりました。これは、当該株式交換が企業結合会計上の逆取得に該当するため、当第1四半期の期首時点において、キリンファーマ㈱の連結総資産（968億円）に、当社の連結総資産の時価評価額及びのれんを取り込み、当第1四半期中の変動額を反映したものであります。

流動資産は、受取手形及び売掛金や現金及び預金などが増加したため、前連結会計年度末に比べて478億円増加し、2,805億円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,026億円増加し、4,640億円となりました。逆取得に伴うのれんとして1,919億円を計上し、当第1四半期中に23億円償却しております。また、逆取得に伴う土地及び投資有価証券の時価評価差額を674億円計上しております。

負債は、前連結会計年度末に比べて505億円増加し、1,878億円となりました。逆取得に伴う土地等の時価評価に伴い繰延税金負債が増加したほか、支払手形及び買掛金や未払金などが増加しております。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2,999億円増加し、5,567億円となりました。これは、当第1四半期の期首時点において、キリンファーマ㈱の連結純資産（646億円）に、被取得企業である当社の取得原価（合意公表日直前の当社株式の時価総額）4,778億円を取り込み、当第1四半期中の変動額を反映したものであります。

以上の結果、当第1四半期末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて9.6ポイント増加し、74.1%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期における現金及び現金同等物の四半期末残高は500億円となりました。これは、キリンファーマ㈱との本年4月1日付けの株式交換が企業結合会計上の逆取得に該当するため、当第1四半期における現金及び現金同等物の期首残高が、キリンファーマ㈱の連結期首残高（104億円）となっており、これに新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額437億円（前連結会計年度の当社グループの現金及び現金同等物の期末残高相当額441億円を含む。）を取り込み、当第1四半期中の変動額を反映したものであります。この結果、当第1四半期における現金及び現金同等物の増減額は41億円の減少となっております。（なお、前連結会計年度の現金及び現金同等物の期末残高441億円に比べると、59億円増加しております。）

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、143億円の収入となりました。主な収入要因としては、税金等調整前四半期純利益172億円、運転資金の減少（売上債権の減少、仕入債務の増加等）50億円、減価償却費43億円、のれん償却額24億円などであり、一方、主な支出要因としては、法人税等の支払額106億円、賞与引当金の減少31億円などであり、

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、68億円の支出となりました。主な支出要因としては、有形固定資産の取得による支出41億円などであり、

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、117億円の支出となりました。主な支出要因としては、キリンファーマ㈱における長期借入金の返済による支出100億円、配当金の支払額17億円などであり、

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成20年4月28日発表の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社との株式交換により平成20年4月1日付けでキリンファーマ(株)が当社の完全子会社（特定子会社）となったため、当第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ339百万円減少しております。

3. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

この変更が損益に与える影響はありません。

4. リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が、会計基準適用初年度前の所有権移転外ファイナンスリース取引については、引き続き、通常の賃貸借処理に準じた会計処理を採用しております。

この変更が損益に与える影響は僅少であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,757	18,481
受取手形及び売掛金	132,574	110,447
有価証券	18,591	26,667
商品	11,563	9,079
製品	28,531	26,929
半製品	9,180	6,547
原材料	10,344	8,441
仕掛品	8,622	9,121
貯蔵品	1,612	2,297
繰延税金資産	10,314	6,829
短期貸付金	5,632	20
その他	12,998	7,888
貸倒引当金	△164	△89
流動資産合計	280,559	232,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	157,531	124,832
減価償却累計額	△107,479	△87,545
建物及び構築物（純額）	50,051	37,286
機械装置及び運搬具	215,388	198,703
減価償却累計額	△184,997	△171,672
機械装置及び運搬具（純額）	30,391	27,031
土地	81,788	21,253
建設仮勘定	4,025	4,355
その他	53,659	35,904
減価償却累計額	△44,161	△30,697
その他（純額）	9,497	5,207
有形固定資産合計	175,754	95,134
無形固定資産		
のれん	190,234	180
その他	3,670	376
無形固定資産合計	193,905	556
投資その他の資産		
投資有価証券	78,514	53,196
長期貸付金	552	522
繰延税金資産	5,725	1,080
その他	11,145	12,449
貸倒引当金	△1,567	△1,520
投資その他の資産合計	94,371	65,728
固定資産合計	464,031	161,420
資産合計	744,591	394,081

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,064	49,358
短期借入金	13,330	12,533
未払金	30,403	21,490
未払法人税等	6,005	10,603
売上割戻引当金	304	341
返品調整引当金	39	58
販売促進引当金	605	668
定期修繕引当金	280	1,477
賞与引当金	1,273	3,775
その他	12,708	11,371
流動負債合計	124,017	111,679
固定負債		
社債	75	—
長期借入金	3,073	256
繰延税金負債	29,122	2,398
退職給付引当金	27,805	20,948
役員退職慰労引当金	166	218
債務保証損失引当金	—	700
その他	3,581	1,120
固定負債合計	63,825	25,643
負債合計	187,842	137,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	512,430	43,180
利益剰余金	14,033	170,947
自己株式	△2,138	△1,544
株主資本合計	551,071	239,328
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,334	15,348
繰延ヘッジ損益	25	△9
為替換算調整勘定	△445	△378
評価・換算差額等合計	914	14,960
新株予約権	145	156
少数株主持分	4,617	2,312
純資産合計	556,749	256,758
負債純資産合計	744,591	394,081

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	125,435
売上原価	66,592
売上総利益	58,843
販売費及び一般管理費	
研究開発費	14,255
のれん償却額	2,418
その他	25,096
販売費及び一般管理費合計	41,770
営業利益	17,072
営業外収益	
受取利息	185
受取配当金	574
為替差益	1,388
持分法による投資利益	303
その他	319
営業外収益合計	2,772
営業外費用	
支払利息	190
その他	859
営業外費用合計	1,049
経常利益	18,795
特別損失	
減損損失	1,308
統合関連費用	214
特別損失合計	1,523
税金等調整前四半期純利益	17,272
法人税、住民税及び事業税	6,769
法人税等調整額	746
法人税等合計	7,515
少数株主利益	167
四半期純利益	9,588

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	17,272
減価償却費	4,306
減損損失	1,308
のれん償却額	2,464
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△589
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△239
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,168
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	28
受取利息及び受取配当金	△760
支払利息	190
持分法による投資損益 (△は益)	△303
有形固定資産除売却損益 (△は益)	167
有価証券売却損益 (△は益)	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,372
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△441
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,127
その他	△1,669
小計	24,067
利息及び配当金の受取額	1,119
利息の支払額	△185
法人税等の支払額	△10,692
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,196
有形固定資産の売却による収入	7
投資有価証券の取得による支出	△11
投資有価証券の売却による収入	1
その他	△2,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,830
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	592
長期借入れによる収入	100
長期借入金の返済による支出	△10,035
自己株式の取得による支出	△637
配当金の支払額	△1,736
少数株主への配当金の支払額	△60
その他	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	153
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,157
現金及び現金同等物の期首残高	10,440
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	43,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,023

当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	医薬 (百万円)	バイオ ケミカル (百万円)	化学品 (百万円)	食品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	59,062	20,240	21,776	9,449	14,906	125,435	—	125,435
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	128	2,703	3,359	943	2,985	10,120	(10,120)	—
計	59,190	22,944	25,135	10,393	17,892	135,555	(10,120)	125,435
営業利益	12,851	2,972	509	396	273	17,002	69	17,072

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	15,859	6,720	8,981	149	31,711
II 連結売上高（百万円）					125,435
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合（%）	12.6	5.4	7.2	0.1	25.3

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年4月1日付けで当社を完全親会社、キリンファーマ㈱を完全子会社とする株式交換を実施しました。当該株式交換は企業結合会計上の逆取得に該当するため、当第1四半期連結累計期間の株主資本の期首残高はキリンファーマ㈱の連結期首残高となっております。そのため、前連結会計年度の株主資本の連結会計年度末残高と当第1四半期連結累計期間の株主資本の期首残高との間には連続性がなくなっております。

当第1四半期連結累計期間における株主資本の各項目の主な変動事由及びその金額は、次のとおりであります。

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金 (注3)	自己株式	株主資本合計
平成20年3月31日残高(百万円) (注1)	3,000	56,813	4,445	—	64,258
第1四半期連結累計期間中の変動額					
株式交換による増加(注2)	23,745	455,618		△1,544	477,819
四半期純利益			9,588		9,588
自己株式の取得				△637	△637
自己株式の処分		△1		42	41
第1四半期連結累計期間中の変動額合計(百万円)	23,745	455,617	9,588	△2,138	486,812
平成20年6月30日残高(百万円)	26,745	512,430	14,033	△2,138	551,071

注1. 「平成20年3月31日残高」は、キリンファーマ㈱の連結期首残高を記載しております。

注2. 「株式交換による増加」は、キリンファーマ㈱を取得企業、当社を被取得企業としてパーチェス法を適用したことによる増加(被取得企業の取得原価)であります。

注3. 平成20年3月31日を基準日(効力発生日:平成20年6月25日)とする当社の剰余金の配当△1,987百万円は、「資本剰余金」の「株式交換による増加」に含めて記載しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	94,978
II 売上原価	58,447
売上総利益	36,530
返品調整引当金戻入額	44
返品調整引当金繰入額	46
差引売上総利益	36,528
III 販売費及び一般管理費	28,960
営業利益	7,568
IV 営業外収益	1,944
1. 受取利息及び配当金	786
2. 持分法による投資利益	312
3. その他	845
V 営業外費用	1,139
1. 支払利息	86
2. その他	1,053
経常利益	8,372
VI 特別利益	328
固定資産売却益	328
税金等調整前四半期純利益	8,701
法人税、住民税及び事業税	2,209
法人税等調整額	1,134
少数株主利益	37
四半期純利益	5,319

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区 分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,701
減価償却費	3,148
退職給付引当金増減額 (減少: △)	△167
賞与引当金増減額 (減少: △)	△2,901
売上債権の増減額 (増加: △)	△1,318
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△505
仕入債務の増減額 (減少: △)	2,193
法人税等の支払額	△7,524
その他	△3,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,577
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,737
有形固定資産の売却による収入	399
投資有価証券の売却による収入	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,263
その他	△1,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,389
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (減少: △)	△8,000
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (減少: △)	5,000
自己株式の取得による支出	△88
配当金の支払額	△1,663
その他	△615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,367
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△26
V 現金及び現金同等物の増減額	△14,361
VI 現金及び現金同等物の期首残高	36,613
VII 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△172
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	22,080

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

（単位：百万円）

	医薬	バイオ ケミカル	化学品	食品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	34,366	20,179	21,922	9,510	9,000	94,978	—	94,978
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	153	2,255	1,783	961	3,024	8,178	(8,178)	—
計	34,519	22,434	23,705	10,472	12,024	103,156	(8,178)	94,978
営業費用	31,496	20,422	21,822	10,056	11,855	95,653	(8,242)	87,410
営業利益	3,023	2,011	1,883	416	168	7,503	64	7,568

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	6,904	5,054	5,844	389	18,192
II 連結売上高（百万円）					94,978
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	7.3	5.3	6.2	0.4	19.2